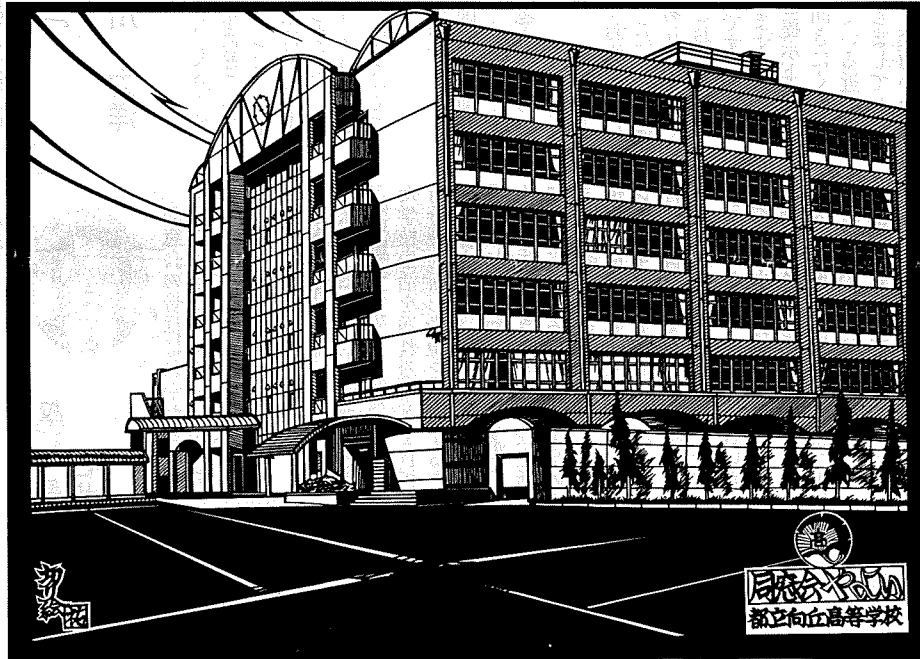


発行責任者 都立向丘高等学校同窓会
 会長 小川 力洋
 編集 会報委員会
 事務局 〒113-0023
 東京都文京区向丘1-11-18 向丘高校内
 TEL 3811-2022
 FAX 3812-4055



校庭より望む校舎

切り絵作家 稲葉祐吉作

同窓会活動のご案内 (やよい会)

■平成16年4月25日(日)

総会 受付13:00
 開始 13:30~14:15
 会務・会計の報告・審議
記念演奏会 14:30~16:00
 出演〔I〕母校吹奏楽部(30分)
 (15年都大会にて20人
 以下編成の部で金賞
 受賞)
 〔II〕ビッグコンポ JAZZグループ
 POOR-GODS(60分)
 (ブゥアーゴッツ)
指揮 バンドリーダー小川行治
 (在校中ブラスバンド部を
 36年に創部し、初代部長を
 務めた。ライブハウス等
 で活動している)(S37卒)
曲目 素敵な貴方・テンダリー
 ・聖者の行進 他多数
対象 会員、在校生、保護者、
 一般
料金 無料(お誘い合わせ下さい)
懇親会 16:00~18:00
 アトラクション(フォークソング
 部OB演奏、ゲーム、抽選会)あり

参加費
 3,000円(但し、H15,16年卒業生
 は無料です。各級幹事がまとめ
 て下さい)
申込方法
 4月20日(火)までに同封の用
 紙にてお振込下さい。
場所
 すべて母校6階多目的ホール

■平成16年6月26日(土)
やよい会 西日本大会
式典 受付12:00 開始12:30
催物 13:00~
 本場河内音頭・日舞 他
懇談会 13:30~15:30
参加費 5,000円
 但しH15,16年卒業生は 2,500円
場所 結婚式場大黒殿
 管主 高尾妙弘
 (旧姓 杉本和子・31年卒)
 大阪府八尾市本町6-10-1
 TEL 0729-91-1834
 FAX 0729-24-3773
 ※地図参照 11ページに掲示
申込・メ切
 16年6月16日(水)までに同封の

用紙その他の欄に西日本大会費と
 お書き込みの上お振込下さい。
 宿泊希望者は同所にて一泊(朝
 食付)4,500円で便宜頂けます。

■16年9月26日(日)
学校訪問会(ホームカミング会)
セミナー 16:00~17:00
課題 化粧品改革をめざして
 “本物を選んでいきますか?”
講師 小沢玉枝(S55卒)
 化粧品アドバイザー
料金 無料
 ~~~~~  
**懇談会** 17:00~18:30  
**参加費** 2,000円(要予約、当日払可)  
**場所** 母校B棟4階視聴覚教室  
 ※母校向陵祭(文化祭)が9月25・26  
 (PM3:00終了)開催されます。ご参  
 観後に行います。

~~~~~  
総合問合わせ先
 〒114-0012
 東京都北区田端新町1-27-11
 東京都立向丘高等学校同窓会
 会長 小川 力洋
 TEL 3893-9792(代)
 FAX 3893-9793

御挨拶

全員加入同意に発奮 活動へ関心度高揚を望む



同窓会長
小川 力洋

東京都教育委員会からの通達で、入会に對しての確認事項として、本人(保護者)から同意書の提出が求められておりました。本年は初めての試みでしたが、一月末に学校經由担任から生徒の皆様に依頼いたしました。

①総会・懇談会(アトラクションの実行)
(原則四月第三日曜日受付一時母校にて)
②「ホームカミング会」
(学校訪問・向陵祭に合わせた開催)

③機関紙(やよい)の発行・全国の住所別会員と旧職員に郵送・学校配布

④会員名簿の作成(補正順次・総合名簿の発行は他本会の目的に適用)

⑤その他本会の目的に適用する事業
以上の事業を遂行することをお約束いたし、全員から同意をいただきました。これは全会員に對しても通じるものであります。

さて、本年も表紙にご案内のとおり四月二十五日(日)に開催いたしますが、誠に残念ながら参加者が僅少であります。いかにすることが良策なのかお智恵を「提示下さい」。そんな中、昨年より遠方へ向うに近畿地方(二四名)を主対象といたしましてお呼び掛けをし、第二回西日本大会を企画いたしました。是非ご参加されたく期待いたします。徐々にではありますが諦めずに邁進する所存であります。

斯様な企画を進めて行きたいものですので、各地方なりで「やよい大会」を考えていただければ、全国の皆様をお願い申し上げます。今後益々のご繁栄とご発展を祈念致します。

『活躍する向丘生徒』



校長
石井 隆夫

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

小川会長を始め会員の皆様には、向丘高校の教育活動に對しましては、深いご理解とあたたかいご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は昨年度、学校運営連絡協議会の席で、「好環境のなかで、伸び伸びと自分を生かした学校生活を送れることを目指し、その中で自分を判断し表現を主張することができる生徒を育成する。」と目標を述べました。教職員には年度当初の職員会議で、「学ぶ基本の中に、生き生きとした学校生活を送れるように学校に對する帰属意識を高めよう」と話しました。その結果本年は、部活動加入人数が倍増し活発化しました。男女バスケット、バレー、サッカー、軟式野球部が毎週交代で休日に練習をしています。吹奏楽部は東京都高等学校吹奏楽コンクールで金賞、アンサンブルコンクールで銀賞を受賞いたしました。美術部三年生の男子は、東京都文化祭中央展で奨励賞を受賞し陸上部では二年生、一年生、二人とも上位成績で都大会へ出場いたしました。又このほかにも発足したばかりのラグビー部が公式戦に参加するなど、活気あふれる生徒の声、表情が校内にあふれ生徒は学校生活に意欲的に取り組んでいます。

これらはすべて、先輩の皆様が築いてこられた自由の中にも規律のある校風を生徒が理解してくれたものだ、先輩の皆様にご感謝申し上げます。

さて一方では、教育にかかわる事柄が毎日のように新聞紙上ににぎわし、教育問題は緊急を要する国民的課題となっております。二十一世紀の担い手となる生徒たちが未来に向かつて明るい希望を持ち意欲を持って生き生きとした日々を送り、人間性豊かな社会の形成者として成長することが誰しも願っているとおもいます。その実現のため都立高校では、従来にならぬ様々な教育改革の施策が実施され各学校で取り組んでいます。

改革のキーワードは、ゆとりのある学校生活の中で「生きる力」の育成です。「生きる力」は、向丘高校では代々の校長先生が教育方針に掲げさまざまな先進的な取り組みを行なっております。

今後、向丘高校は何事にも先進的な気風のある伝統を生かして二十一世紀に活躍する生徒に對して「生きる力」を土台にした学校運営に取り組みを所存です。

今後とも同窓会の皆様には、学校運営に資する様々なご意見、ご支援をお願いし又同窓会の益々のご発展を祈念いたしまして挨拶に代えさせていただきます。

.....

学校だより



教頭
飯田 幸男

入試——女子の高人気相変わらず

都立高校入試は、昨年の学区制の廃止、自己PRカードの導入に引き続き、今年度も推薦入試における観点別評価や文化・スポーツ推薦の導入等新たな試みがなされました。本校の十六年度の応募倍率は昨年、都立高校随一であった反動か受験生に多少敬遠され、推薦・学力検査応募者の合計は五一五名(男子二〇八名・女子三〇七名)と例年並みにとどまりました。しかし、女子の高人気は相変わらずです。

新教育課程スタート——七限目も授業

平成十五年度は、学校二日制が実施されて二年目、また新教育課程がスタートした年でもあ

ります。新教育課程においては教科「情報」と「総合的な学習の時間」が新たに取入れられました。「総合的な学習の時間」については本校では一年次、二年次に実施されることになっております。生徒達は月曜の七時限目及び各学期末に各自のテーマに沿って集中的に活動を行っています。初年度は一学期「地域を知る」二学期「自分を知る」三学期「沖縄の文化・芸能」というテーマで個人やグループごとに自主的な活動を行っております。また、情報化の時代に対応できる情報処理能力の養成を目的とする教科「情報」は三年次に履修することになっております。

活発な部活動——吹奏楽部、金賞・銀賞受賞
美術部三年狩野君、奨励賞受賞

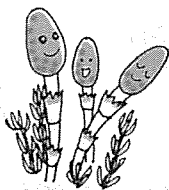
現在、運動部が十六部、文化部が十四部、同好会が四団体で活動しています。運動部ではサッカー部、陸上競技部、硬式テニス部、男女バスケット部、男女バレー部、バドミントン部、ラグビー部などが活発に活動を行っています。

文化部では美術部、演劇部、吹奏楽部、軽音楽部などが活発です。吹奏楽部は東京都高等学校吹奏楽コンクールにて金賞、アンサンブルコンテスト(木管六重奏)にて銀賞を受賞しました。

また、美術部三年の狩野大寿君は十五年十二月東京芸術劇場で開催された東京都高等学校文化祭第十四回中央展において作品「翠の悲劇」を出品し奨励賞を受賞しました。

小川力洋会長・田中正明相談役
学校運営連絡協議会協議委員に！

都立高校は開かれた学校作りを目指して様々な取り組みを行っています。その一つとして学校運営連絡協議会があります。地域の方をはじめ学校外の方々には協議委員になっていただき学校の課題等について年三回協議をお願いいたします。同窓会からも小川力洋会長、田中正明氏に協議委員としてご出向いただき、毎回貴重なご意見を頂いております。



同窓会活動報告

青春を呼び興される

総会・懇親会へ

楽しさ・うれしさで感激



S 34年卒
笹沼 芳子
(旧姓 五十嵐)

久しぶりに同窓会に出ました。校舎は外観もすっかりモダンになり冷暖房完備・エレベーター・六階建校舎、立派になりました。都立高校の中では、男女ともトップの倍率だとか、パソコンを取り入れた授業、自由な校風、その他生徒をひきつける授業内容なのでしょう。うれしかったことは水町先生にお会い出来たことです。生徒と一体になり熱心に教えて下さったことを忘れません。

記念演奏会東京マンドリン合奏団の古賀メロデー、指揮者の軽快でユーモラスな姿、一緒に歌いとても楽しかったですよ。同窓生のフォークソング演奏、抽選会久しぶりに童心にかえりました。

三十四期卒業の皆さん！ あれから四十数年お変わりありませんか。是非元氣なうちに懐かしい友達と母校を訪ね同窓会にも参加しましょう。かわりようにびつくりしますよ。私は六十才をすぎ介護の仕事無理しない程度にやっています。本当にいろいろな方にお会いして勉強になります。

皆さんは如何お過ごしでしょうか。とにかく健康に注意して楽しい毎日をお過ごし下さい。母校向丘高校、同窓会の益々の発展心よりお祈り致します。



初対面の校舎に驚き!!



S 34年卒
折本 輝子
(旧姓 増田)

地下鉄南北線を上って本郷通りに出て、友達との再会と卒業以来久しぶりの校舎への思いで胸が高まり、イチヨウ並木に沿って足を速めました。在学していた昭和三十年代は都電で通学していましたので、現在の交通量は驚きの一語です。

わが母校「向丘高校」は当時の木造校舎から一変して、最新の設備とこの新校舎の大きさに驚かされ、時代の流れを感じました。会では、お懐かしい恩師の方々、変わらぬ同窓の皆さんにお会いできました。明大マンドリンの演奏も素晴らしい良い時をありがとうございました。現在、文京区勤めの終えた主人と畑仕事に精を出しています。霞ヶ浦より皆さまのご健勝をお祈りしております。



上/絵手紙・輝子書 下/アトラクションのマンドリン演奏に魅了される(15.4.29)

やよい会西日本(大阪)大会 誕生への嬉び

(大阪府八尾)河内より思いを込めて



S 31年卒
高尾 和子
(旧姓 杉本)

向丘高校を卒業して早五十年、今晩の中に楽しかった思い出が走馬灯のように浮かんで参ります。昭和二十九年九月に大阪より転入して、約一年半の修学でありましたが、暖かく親切に受け入れてくださった同級生の皆様や、熱心にご指導下さった先生方のことが、本当に懐かしく思われます。

十年間の在京の後、八尾の地に嫁して四十年、結成の発願を伺いまして、懐かしさのあまり僅かなりとお役に立てればと思ひ、協力を申し出ましたところ、早速に十五年五月二十四日に同窓十五人の方々の、下見を兼ねたお集まりをいただき大いに感激いたしました。

関西にも「やよい会」の活動が芽をふき、活性化されればこんな嬉しいことはありません。関西にご在住の皆様のご協力を切にお願い致します。向丘高校を誇りの母校と思ひ、青春時代の思い出を宝として、頑張っている一人でございます。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

河内音頭観賞から高野山へ



S 32年卒
櫻井 弘清

平成十五年五月二十四日やよい会西日本大会が大阪府八尾市本町大黒殿、高尾和子さんの所

で行われた。自分としては大阪に行くのは初めてで本場の河内音頭もアトラクションで見ることが出来非常に楽しく参加出来た。その内一番心に残った事は三輪京子さんの息子さんが今年向丘高校を卒業されたこと末木君と同級生であり菓鴨にて生活しているとのこと。小生も菓鴨に住んで居るため、初めてお会いした様に思えなかった。

夜はお好み焼きを食べに難波へ行き、阪神タイガースが優勝すると皆さんが飛び込む道頓堀の橋の上に立ったがそれはそれはキタナイ狭い川でこんな所へ良くぞ飛び込むのだと関心させられた。大丸デパートも東京駅とはことなり、古いレンガ作りのいきな建物であった。

翌日は霊峰高野山に参り、これ又すばらしい所であった。やよい会の皆様にも一度は行って見て欲しい所だと思ひました。今後も毎年西日本大会が継続して開かれることを祈念して筆をおかしていただきます。

同窓の仲間意識を体感



S 34年卒
田中ケイ子
(旧姓 宿輪)

紫陽花が雨に似合う季節になりました。お変わりなくお過ごしのことと存じます。その節は大変お世話になりました。

ご案内をいただきまして、胸をはづませてこの日を待つてはいたもので、さてどうなるものかと、半信半疑でおりました。

私は四日市三重の在住ですが、乗換えさえすれば会場まで行けるので参加を決心いたしました。

限られた時間の同窓会パーティーでしたが、楽しい一時でした。初めてお会いする方ばかりなのに先輩、後輩、関係なくリラックスして誰とでもお話しが楽しめる不思議さは、同窓生だからと言う事だけでなく会長さんのお人柄、和やかな雰囲気生まれて来るようでした。

同窓親子で人生設計を!!



S 47年卒
三輪 京子
(旧姓 成田)

第一回西日本大会が、五月二十四日に大阪八尾市の大黒殿にて盛況に行われた。関西在住の卒業生四十数名中、今回参加者は役員含めて十四名だったが熟年パワー全開の個性あふれる楽しい同窓会となった。

参加者の中で最年少の今年度卒業の生徒会長と会えるとは思ってもよらず、我が息子とクラスメイトと聞いて二度驚き、卒業式の様子が甦った。又、尊敬申し上げる切り絵作家の稲葉祐吉さんに切り絵を頂き、川端先生の教育談義に心を動かされた。塾を経営している今の私に大いに刺激になった。

会長さんのやよい会継続のご苦労も伺い、これからの発展に少しでも貢献できればと思った。最後に大黒殿の管主の高尾さんのご厚意により、大阪名物の河内音頭の余興も披露していただき大会が一層盛り上がりがあった。お会いできた方々皆さんが、すばらしく輝いてることに感動。この出会いを大切に次回につなげていけたらと思う。



本場河内音頭で上機嫌の会場 (15.5.24)

秋晴れのホームカミングデイ
お茶の香りの中で



S 47年卒
佐々木 郁子
(旧姓 遠野)

平成十五年九月二十八日、向陵祭の二日目、午後四時を少し過ぎて、同窓会主催のホームカミングデイの講演が始まった。

今回は北区滝野川で丸美屋というお茶屋さんを営む小高和敏氏(昭和四十五年卒)を講師にお迎えして、お茶についてのお話を伺った。

小高氏は、東京でも四人しかいないという、日本茶インストラクター(茶審査技術八段取得)の資格を持つ方で、ウエルカムティーとしておいしい玉露を入れて下さるやいなや、たちまち香り高いお茶の世界が広がった。

お話を伺ううちに、世界で一番飲まれているお茶は紅茶だとか、玉露の生産地としては、宇治(京都)よりも八女(福岡)の方が生産量が多いとか、お茶は学名をカメリア・シネンシスというツバキ科の常緑樹だとか、お茶についての知識がグンと増加した。

毎日飲んでいる馴染み深いお茶について、今まで如何に無知であったかがよくわかった。かぶせ茶や碾茶など知らなかったお茶についても、その製法から詳しく教えていただいた、さらにそれらを実際に入れて味わうこともでき、実にみりりの多い講演だった。

おいしいお茶の入れ方を伺い、今まで何気なく入れていたお茶の入れ方の間違いに気付き、これからは家でもおいしいお茶を入れよう、一同の気持ちが一つになったところで終了となった。

マス・メディアなどでカテキンの効用が説かれたりして、お茶は現在、日本中のブームになっているためか、またPTAの方々、特にかつてのPTA会長の方々も参加して下さったおかげで、ホームカミングデイとしては四十名近い参加者の盛会であった。夕焼けに染まる秋空を遠景に、お茶の香りの

中で、終始なごやかな雰囲気にもまれた楽しいひとときを過ごせたこと、たくさんのお茶器を持参して高級なお茶も惜しげもなく使わせて下さった小高氏に心から感謝したい。

第四学区同窓会会議と
向陵祭同窓会コーナーの報告



S 36年卒
田中 正明

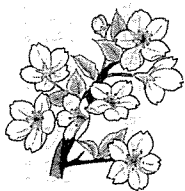
平成十五年八月、第四学区高等学校の同窓会の懇談会が開催されました。

当日の参加者は十四校、参加者は二十三名でした。中心的な話題は、同窓会の活動についてでした。各校の同窓会の現状、課題などについて、それぞれ発刊物などをもとに話がありました。学校によって活動に差があり、同窓会を活性化するため、様々な創意や工夫がなされていくことがわかりました。

大正七年に開校した本郷商業高等学校と、昭和十年に開校した向丘女子高等学校が、昭和十三年に統合し、戦後新制の東京都立向丘高等学校として発足した母校は、平成十年に創立五十周年を迎えました。私たちは向丘の生徒として、青春時代の三年間の生活をこの学舎に刻したのです。

九月二十七日、二十八日に開催された向陵祭の同窓会コーナーでは昭和二十五、二十六年頃の向陵新聞やその頃の資料などを展示しました。また、稲葉氏による切り絵教室など、来校された方々の好評を得た企画でした。

同窓会のみならず、折に触れて母校の歩みに関心をもっていた皆さま、ご支援くださいますようお願いいたします。



活動だより

「いてふ会」と命名す
参加できることの喜び!!
卒業五十周年記念同期会を終えて



S 27年卒
五條 彰久

われわれ第四期生の「卒業五十周年記念同期会」は、平成十四年五月十二日、明治記念館「千歳の間」において盛大に行われた。

実は会場選定で明治記念館を訪れた時、営業担当者・中俊夫さんが、偶然向丘高校出身者であったことを知り、向丘の縁を感じ即決するというプロローグがあった。

五月晴れの緑の庭園に会した昔の美男・美女は総数五十七名。どなたも若さと気品と知性にあふれ、東宮御所と明治外苑に囲まれた明治記念館の雰囲気と違和感なくピッタリ融合していた。記念写真を見ればそれは一目瞭然。とても古稀直前の高齢者の集いには見えない。会場には、五十年という歳月を感じさせない熱気と若さが充滿し、しばしの時間、向丘のあの懐かしい思い出や、青春の感激に浸ることができた。

向丘高校の舞台で練り上げられたわれわれの青春のドラマは、燦然と輝く四期生の夢の共有財産。今思えば小さな思い出が、現在の人生を支えてきたと言っても過言ではない。それをしっかりとつかみ取る一つのセレモニーであった。

しかし幹事として一番残念だったことは、出欠票に同期生の計報が記されていたことだ。五十年の間に多くの恩師や友人を失ってきた。今回も二人の方が亡くなっていた。宮畑栄夫先生と結婚した宮畑(旧姓・荻島)康子さんからは、先生が十三年五月に亡くなって、まだ気持ちの整理ができていないため欠席との返事を受けた。また行方不明・無回答者が三十五名もいた。本人や家族が病気で欠席の方も多かった。この現実を見ると、出席できる喜びを感じずにはい



明治記念館内庭にて

れない。
 本来ならご健在の恩師をご招待したかったが、先生方のお歳を考えるとそれは控えた。そこで楠本加美野先生からは、テープによるメッセーヂを、宇津山信平先生、近藤節子先生、小杉（現・野中）秀子先生からは、手紙によるお言葉を頂戴し、開会時にご紹介した。おしゃべり以外何もアトラクションのない会としたが、向丘校歌だけは声高々と合唱した。この校歌を作詞した勝 承夫氏は、当日出席した同期の鈴木淳子（旧姓・勝）さんのお父さんであることは、意外と知られていない。

さて、五十周年の同期会を一つの区切りとして、同期会を発展的に解消することになった。アンケートを取り、今後も同期の皆さんと親睦を深めたいという希望の皆さん（六十四名）と共に、同期会という名称は使わず「いてふ会」として、存続させることにした。「いちよう」ではなく「いてふ」としたところに、歴史の重み

を感じてほしい。勿論「いてふ」は向丘の校章を意味している。実は、「いちよう会」という名称の老人介護団体があるのだ。世界一の長寿国で、七十歳そこそこの老いののを恥じたいという、希望の欲求が「いてふ会」と命名したと言え。『いてふ』は昔から長寿、長命の代名詞である。エピソードは、終業後の会計の時、営業部の中 俊夫さんのお骨折りにより、会場費がサーピスとなり、「いてふ会」の軍資金ができたことである。皆さん、区切りの同期会にはぜひ明治記念館のご使用をお薦めして記念の同期会の報告としたい。

**十七年ぶりに三〇〇クラス会
 奥田・永尾旧担任を迎えて**

向丘を卒業以来半世紀に近い四十八年を経過しての昔々のクラス会です。
 平成十五年六月八日（日）池袋サンシャインビル五十八階のクルーズクルーズでお昼の会が二十二名参加で開催されました。
 クラス会は十七年前に白山上の長寿庵で開いて以来本当に久しぶりの集まりでした。
 三〇〇担任の佐川先生は他界されましたが、A組担任の奥田先生とD組担任の永尾先生がお元氣にご参集頂きました。
 クラスメイトのうち四名の他界を確認し住所不明者、音信不通者も多くなりました。
 元氣な内に昔の仲間に出会い元氣を確認し青春の息吹を思い出したいと考えました。
 そして生きる喜びとパワーをお互いに充電し合い、明日からの活力にしたいと願いました。
 会は静かに始まりましたが全員に配布した卒業写真と比較しながらの近況報告で、時間の壁は一気に縮まりそれぞれに昔の顔が甦りました。
 今も現役で働く者、大病を患い元氣に回復した者、多彩な分野で実力を発揮している者等、輝く表情からそれを感じ取りました。
 永尾先生は七十九歳とされましたが今も



S 30年卒
三谷 一郎



池袋サンシャイン58階クルーズクルーズにて

元氣に教育の管理分野でご活躍です。
 「周囲の仲間が段々に世を去り淋しくなった。健康の大切さを大事に日々を過ごして欲しい。」
 奥田先生は出家得度され奥田恵瑞となり、全行脚六五〇〇キロを七ヶ月余りで歩き体験を二枚の百円玉に纏められ出版されました。更に幕末から明治期の国学者で歌人の先生の曾祖父「物集高世評伝」を奥様と共同で執筆されました。
 著述の紹介と評伝を長い年月をかけて愛情を込めた深い労作として書かれ平成十二年に出版されています。
 「人生の終わりに近くなったら、降りかえって今までに縁のあった人々のことを懐かしく温かい思いで見直すことが必要だと思う。」
 仲間同士での再会以上にお二人の先生にお会いできた幸せを一期一会の気持ちで味わいました。お互いの健康を念じ散会し余韻を楽しむテイタイムをそれぞれで過ごしました。



S 41年卒
長谷川三枝子
(旧姓 原)

二〇〇クラス会
心やすらぐ場

二年ぶりの旧二〇〇のクラス会を平成十五年十月十八日、池袋西口のはんばし亭にて開催が決まりました。皆さんどうしているかしら？今回来るといふなあと懐かしい顔を思い浮かべながら、ハガキの宛名を書きました。
 当日の出席者は十四名でした。まず担任の斉藤先生が「じゃあ 出席をとりまします」と名前を呼んで下さいました。「はい」呼ばれた人は大きな声で返事をしました。あれ！一人だけ名簿に名前がない人がいました。その人は、あの頃二〇〇の教室に休み時間になるといつも来ていた男子生徒でした。当時仲良しの友達と同じクラスになれなくて会いに来ていたのでしょうか。その彼が今回クラス会にも出席してくれたのです。もちろん大歓迎です。
 そして、話をすれば、「あの頃は、さあ……」やっぱり高校時代の思い出で盛り上がりました。今回は、当時の服装、髪形も話題になりました。
 五十代も後半になり、誰もが、仕事の事、家族の事、自分の健康と、様々な悩みや心配事のひとつやふたつ抱えながら、日々暮らしていると思います。だからこそ、同じ時代を生きて、同じ思い出を持つ友達と、お酒を飲んで、ウーロン茶を飲んで（私です！）語り合えるひとときが、大事なんです。心がとてもホッと出来る場所なんです。話して夢中になって、気がつく、みんなの顔が素敵な笑顔になっていました。
 私事ですが、昨年、顔面神経麻痺になり、つらい毎日が長く続きました。励ましの手紙や電話を頂いて、あらためて友達のありがたさを痛感しました。お陰様ですっかり完治し今回のクラス会に出席する事が出来ました。次回も元氣にたくさんの方とお会いするのを、楽しみにしています。

昭和五十二年卒業生同期会 恩師の心遣いに感謝



実行委員長
S52年卒
小高 久登

平成十五年七月十三日(日)、小雨降る中、私たち向丘高校昭和五十二年卒業生の同期会が、目白台椿山荘にて行われました。卒業後まもなく、昭和五十七年に開かれて以来、二回目の同期会、担任をしてくださった先生六名をお迎えし、卒業生九十六名が集い、大盛況の中終了する事が出来ました。

見覚えのある顔、記憶に無い顔、そして今でも仲の良い友達、大勢の級友や、卒業以来初めてお会いした先生方のお顔を拝見しさまざまな記憶が甦り、高校時代にタイムスリップしたよ



目白台椿山荘 9階アザレアにて

うな感懐の一日でした。更に、学年主任だった吉田先生が当時のクラス写真に手書きで名前が記入された物をご用意くださり、月日は経てども、恩師のお心遣いに今更ながら感謝、脱帽の至りでありました。

そして、アトラクションでは、フォークソングクラブの面々が今やNHKのナツメロ番組の域に入った当時の曲をさらに迫力を増したパワー(中年パワー)で披露してくれました。

《昔の面影を残す》友人の顔はとても懐かしく、三十年近い長い年月をそれぞれ別に歩んでは来たものの、こうやって再会し何気ない話をする中で、互いに高校生活三年間の思い出が大切にしまわれていた事、その土壌に今日があり、この日を迎えることが出来たことを嬉しく思えました。

そして、あつという間には過ぎ、最後出席者全員で『向丘讃歌』を歌いました。卒業以来久しぶりに歌う校歌を、みんな自然と口ずさみ、校歌が脳裏に刻み込まれていたのだなあと驚き、この三年間がいかに充実していたものだったかと実感しました。

今回の同期会開催のきっかけは豊島区の中学の教頭先生、PTA、そして教頭の前任校の教師(全員がガオカ卒業生)から始まりました。そんな小さな雑談から、慣れない幹事たちが手造りの同期会を計画し、名簿作りから電話かけと、何度も集まり同期会を無事に終了することができました。

労を惜まず幹事をやってくれた仲間とともに、きっかけを作っていた二学年上の大河原先輩。先生方を含め多くの方々が予定をあわせ集えた事に感謝し、この再会がこの後も続く事を願いたいと思います。

See you 5-years after in Tokyo...



カットはS33年卒 佐々木ヨシエ (旧姓 鈴木)

懐かしの「雲の上」 演劇部OB会だより



S31年卒
村上 満男

毎年六月頃になると、向丘高校演劇部「OBの会」の公演を何処かで催しております。出し物の一つは「雲の上」で、高校生役の私は、土管のロケットを小脇に抱えて登場します。舞台には既に、ペーター役の磯先輩、いつまでも美しいソプラの安河内恵美子さんが、可愛い少女Aと少女Bを従え、何やら楽しげに語り合っております。

舞台の袖には、座付作者の長田先生や、いつも優しい、演出の五條大先輩、明るい笑顔顔を絶やさない照明の三谷先輩、そして聡明な評論家の山本越子さん達が他のスタッフの皆さんと、ちびりぐびりと始めております。私はといえば、皆さんの前でセリフをとちらないか、ミスはないかと、胸はドキドキ、顔は真っ赤に、足元フラフラといった間にか酩酊しているのです。

舞台がハネた後は、たいてい反省会と称して四、五人で老先生のお氣に入り、東口の路地裏



演劇部OB会

の格子戸をカラリと開けると、奥のテーブルに気もそぞろに駆け寄り、焼トリの足など齧りながら、ぐびりぐびりと杯を明けております。それにしても老先生や先輩は皆さん酒豪揃い、一番若い私がいづも酔い潰れております。

卒業後の間もない頃は、演劇部のOB達が集まるといういつも顧問と称する先生方が一緒に、母校近くの居酒屋か、池袋辺りのトリスバーに繰り出しては、高尚(?)な演劇論を交しておりました。白山上の裏通りの赤提灯では、教頭のガンマー先生がいつものピンクの梅割りに目を細め、数学の坂根先生はもう十年も通っているという東口のトリスバーで、何やら訳の分からぬ数学の公式を口づさんでおります。そして其処にはいつも長田先生と磯先輩が居て、私がつっ付いていました。昭和三十年代、私はいつも「雲の上」をふわりふわりと漂っていました。

ひろば

平和の尊さありがたさを 努力して築こう



S25年卒
高平香代子 (旧姓 高平)

会報やよい十三号あたりがとうございました。アメリカニュージャーシー在住、コロンビア大学院生で宗教家でもある吉松純さんの記事、嬉しく拝見いたしました。テロで多くの知人を亡くしながら、イラクの子供達を殺すなど反対行動したこと。私も痛い足をひきずって、戦争では解決しないと、米国のイラク攻撃反対の集会へ参加しましたので、同じ向丘高校で学んだ者同志として連帯の挨拶を送りたいと思います。

思えば、戦争中、上富士の校舎だった頃、黄砂の混じった台風を、神風だと云って天皇陛下に最敬礼した事など忘れられず、あつがきに

よれば卒業式で国歌斉唱の際、着席生徒が、十五%もいた事に驚きました。その勇氣ある行動にです。もし、私がある場にいたら、着席者の一人だったでしょう。日本は今、主権者は国民一人です。天皇の世は敗戦で消滅した筈ですから。君が代が、天皇家の歌として存続する事には、何の異存もありませんが、国が押しつけることは反対です。私達はあの戦争で、父、叔父を有無をいわさず、戦地へ向かわせ、特攻隊として、肉弾として死なせ、或いは栄養失調、障害者にさせた歴史の証言者です。当時の天皇のための聖戦だと教育された結果が、悲惨な負の遺産を作ってしまったのです。戦後、二度と戦争はしない、外国の戦争に加担しないという、輝かしい新憲法を、君死に給うことな忘れられません。

今回の号は、アメリカの仕掛けた戦争で世界中がゆれた時期だっただけに、改めて、戦争と平和を考えさせられました。こんな私達の思いを、未来の同窓生達に、努力して築く平和の尊さとありがたさをたっぷり教えて頂きたい、つたない筆をとりました。

昭和二十五年同期の仲良し四人組は、今だに一年に一回、私の家を集まって、一泊二日の小さな同窓会を開いています。
稲葉祐吉さんの切り絵、とてもすてきです。楽しみにしています。

古き時代の向丘での生活



S 31年卒
川端 春生
(旧姓 三橋)

板橋区の中学校から都会にある向丘へ通学することになったので、すっかり大人になった気分でした。その頃、昭和二十五・六年(一九五〇・五一年)、私が通う中学校の周りには畑が、ちこちとあり、通学路は、泥道が砂利混じりの道で、雨が降ると長靴が必要でした。ぬかるみで泥水をかけ合い、全身泥だらけになり、家で母親に叱られた記憶があります。その中学生が、

四月から文京区にある向丘高校へ入学し、通学することになったのです。池袋から省線(山手線)に乗り、駒込で降りて都電に乗り換える。本郷町で降りると学校です。当時の都電の駅名を正確には覚えていないけれど、一つ手前が、吉祥寺、一つ先が、蓬萊町と記憶しています。一つ一つが歴史を思わせる駅名ですが、旧駅名や旧町名の由来などについては、文京区の歴史などに掲載されているので省略します。この電車は、王子駅から日本橋に向かう都電でした。巣鴨から来ると、省線の巣鴨駅で都電に乗り換え、白山上で降ります。往きは電車、帰りは巣鴨まで歩き、ということもちょいちょいありました。

校門を入ると中庭があり、二階建ての校舎と、もう一つの二階建て校舎と平屋建ての校舎を波板屋根の通路で結んであったようでした。その中庭でバレーボールに夢中になっていました。中学校はグラウンドの広い、敷地も大きい学校だったので、最初は狭いので驚きました。でも、高校生活にだんだん慣れてきて、裏から出て小石川植物園へ散歩ができた、東大の校内を歩けたことは、小さな胸に将来の希望を描かせてくれました。

服装は学生服でした。女子は濃紺のブレザー間とは楽しい思い出が一杯でした。エースアタッカーだった根津に住んでいたE君、ハーフセンターで大曲の近くのN君、レシーバーで王子のK君や早稲田大学のそぼのI君などは、卒業後もよく遊びにいったものでした。学校が、教科書を通して勉強するだけでなく、部活で互いに信頼関係を深めたり、友達と夢を語り合う場だったと思います。

当時の向丘は、体育館もプールもない学校でしたが、今は近代的な校舎です。毎年、同窓会の総会が学校で行われています。その時に校舎の中を見させていたとき、在校生のみならず、この超近代的な校舎を大切に、充実した学校生活を過ごしている姿が目に見えます。これからも、向丘高校がますます発展されるように期待しています。

私の趣味「ぶらり旅」



S 31年卒
三田 昌男

昨年は鉄道距離で約四千kmの旅をしました。山口の湯田温泉、やよい会の西日本大会の翌日の高野山、熱海の伊豆山温泉、伊豆の河津桜を見に行き泊まった熱川温泉、十二月には熱海の梅園の紅葉を見て伊東温泉に泊まりました。温泉地で露天風呂の有る所が好きです。所によってはフルタイム、大風呂につき、ゆつくりリラククスし、サウナ風呂や色々な種類の風呂に入れる楽しみがあります。大風呂は時間制で男女入替えがあり、両方の違った風呂に入れます。夜は部屋食でおいしい料理を食べながらお酒を飲む醍醐味が何ともいえません。

早春の熱海の梅園に行った折、管理人は愛想も良く、園内の説明をしてくれました。この季節も良いが、秋の紅葉の十二月辺りが素晴らしいと言っていました。
又韓国庭園は戦前、韓国の優秀な女性パイロットが羽田から韓国に帰る飛行機が箱根の山で悪天候のため梅園の上の山にぶつかり死亡したのをいたみ、造ったものと教えてくれました。そこで、十二月初旬に再び熱海の梅園に行きました。初川を引き込んだ園内に遊歩道が整備されており入口から川に沿って上っていきと休憩所が、あちこちにあり、川のせせらぎを聞きながら色々な風情を見せてくれます。一番奥の梅見の滝まで五つの橋があり、その橋の上からの溪谷の流れと紅葉の景色はすばらしいものでした。

梅見の滝の下に遊歩道が通っており、裏見の滝も見ることが出来ます。川を渡り少し高台の展望台からは、まわりの紅葉や山並が見えて美しいものでした。
その近くに中山晋平が晩年住んだ家を移築し、記念館として「東京音頭」などの数々のヒット曲をビデオで説明していました。

俳句を楽しもう



S 31年卒
梶田 仍美

日本の窮極の文化である俳句を大変多くの人が学び楽しんでいる昨今、日本だけでなく世界のインターネットリジェンスあふるる人々によっても広がりがつあります。
向丘同窓会の皆様の中にも既に多くのベテランの方々もおいでのことと存じます。私も還暦同窓会で山本さんに進められ、何の予備知識もないまま始めました。今はもっと早く始めていればと悔んでいる所です。

私達が生きている宇宙、人を含め大自然の不思議を子供から大人まで皆、好奇心を持って神の存在をあれこれ考えるものです。そんな思いを哲学的科学的に又色彩的絵画的に或いは社会的政治的にとその時の心身の感情、日常生活の悲喜劇等、創造力を働かせ一画を切り取ります。季語を重ねて五七五のリズムで表現できる世界一短い文学です。

俳句は若くても老いても男女を問わず何時でも始められます。共に共感出来る句、同じことを句にしてもこの様に作るのかとベテランの方の表現に思わず感嘆の声を上げてしまいます。誰でも始められる簡単さと極めることの難かしさ、俳句はこの奥深さが多くの人々を引き付ける魅力なのだと思います。
私など句会のため大恥をかいていますが、檜先生の率直で丁寧な選評と教を繰返し学びながら物忘れと戦っております。句会では自分の句より他の方の発想や豊かな言葉の表現に魅せられます。沙羅の会の雰囲気も良く幾つになっても学ぶことの楽しさも喜びの一つです。

檜先生は同級生ではありますが師としてのお人柄を深く御尊敬いたしております。健康を含め事情の許さざり今後とも続けたいと願っております。
どうぞ向丘同窓会の皆様、ベテランの方も初心者の方も老若男女のご入会をお待ちしております。まずは御見学にお出かけ下さい。

言葉の遊び



S 32年卒 佐藤 二元是

言葉の遊びには、直ぐに思いつくものだけでも、しりとり、や、なぞなぞ、をはじめ、ものはづけ、早口言葉、回文、川柳、小咄、クロスワード・パズル、等々、数多くの種類がある。いろは歌、は遊びを越えて、俳句や短歌のように芸術にまで昇華した作品なのだと思ふ。その類の古典的なものは十編ほどが知られているようだが、現代でも次々に生まれているらしい。

幼い頃から言葉の遊びが好きで、兄妹たちとしりとりをしながら眠りについたこともしばしばだったが、今では長寿テレビ番組の大喜利を大きな楽しみとしている。昔聞いた落語の、「寒い、煙い、眠い、は、むい、の親戚だ」というくすぐりには忘れることができず、意味もなく今でも呟くことがある。

ところで、身近な言葉の遊びの一つに、語呂合わせがある。いわゆる、駄洒落であるが、いつの間にかそれを楽しむようになった。大学受験の時、豆英和辞典の覚えにくい単語の発音に日本語をこじつけて書き込み、日毎その全てに目を通したものだだったが、それが原点になったのかも知れない。例えば、「punctual」は、時間「正確な」の意であるが、これに「パン」食「ちよる」という日本語を当てはめ、「パンを食べる」のは食事であり、食事の「時間」は「正確」である「と連想するのである。同じように、「finance」は、不意に難す「と読み、財政「にこじつける」のである。要するに、広く知られている「dictionary」を、字引く書なり、「とすること」の模倣である。語呂合わせではないが、英単語を都合よく並べた「To be, to be ten made to be」の和訳は「翔へ、翔へ、天まで翔へ」であり、また「You might think do today's some fish」を「言ふまいと 思へど今日の 寒さかな」とするもの楽しい言葉の遊びである。

入学後のある日、大勢の友と、井の頭公園駅

へ行くことになった。料金はもう定かではなくなったが、乗車券を買う時、ごく自然に「** *円でもいいかしら？」というのが出てきて大いに受けたことがある。その後のテレビ番組で、落語の林家木久蔵師匠がネタにしていたくらいであるから、今でも傑作の一つではないかと思っている。何かの原因で、実験室のパーナーのガスが僅かしか出てこないことがあったが、その時は、「今日のガスは、ガスのガスだ」であり、大きな物を二階で落としたり、その音が階下にも響いた時は、「落としたりした音した」だった。駄洒落「は高尚な言葉の遊びとは決して思わないが、それでも時には笑いを誘い、その場の雰囲気や優しくして人間関係を円滑にしてくれることがある。現役の頃には、職場でその効能をよく利用したものだったが、今ではその相手は自分と同様に齢を重ねた伴侶一人だけとなった。

憤り！ 悲しみの子育て...



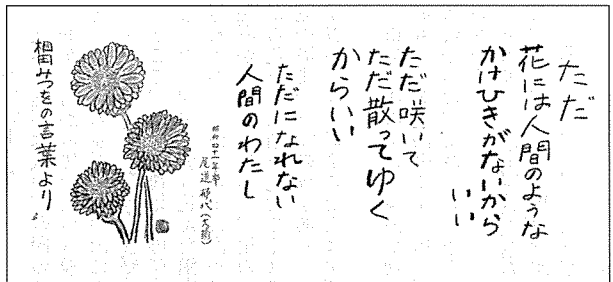
S 34年卒 石山彼早子 (旧姓 佐伯)

「しつかりと飯を食はせて陽にあてしふとんにくるみて寝かす仕合せ」この歌は読売新聞の編集手帳というコーナーに載ったものです。

本当にその通りで、お腹一杯食べさせ子の成長を見守り、遠く将来を胸に描きながら、「這えば立て、立てば歩めの親心」の句のように親バカ丸出しの生活がありました。振り返ってみると、その頃が張りのある充実した毎日であったとつくづく思います。

大阪府岸和田市の男子中学生は、一年半にわたり、父親と内縁の妻から食事らしい食事を与えられず、親じこめられたマンションの部屋には「陽にあてしふとん」ではなくビニールシートが敷かれ排泄物を垂れ流しの状態におかれ、虐待の限りを受けていたと報道されました。地域の人も比較的無関心、児童相談所もおどろきの対応で何ひとつ有効な手を打てなかった

カットはS41年卒 尾道船代(旧姓大橋)



ことが残念です。子供は地域で育つものだという言葉も現代では通用しないのでしょうか。あまりにも冷たい社会になったものです。以前は近所の子が悪さをすると、大人が注意をしたり叱ったりして口をきいたのですが今は、下手に注意するとその子の親から文句をいわれ、大きい男の子だと仕返しされる恐さもあります。子供が地域で育つ下地には、大人達が暖かな目で子供を見守り、わけ隔てなく接することが必要だと思つています。今は非常に難しい社会状態だし、慣れし近づくば、変に誤解されるということにもなりかねないです。いつ頃から自己中心型教育になってしまったのでしょうか。近所との接触が少なく、どういう人達が住んでいるかわからないし、回りに気配りをすることもないともうこんな生活環境に浸りすぎていますけどこれでもいいのでしょうか？

化粧品革命をめざして

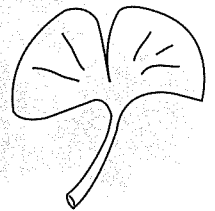
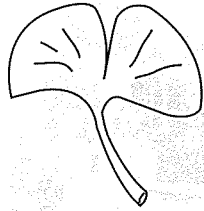


S 55年卒 小沢 玉枝 (旧姓 小林)

「化粧品」というと皆さんは大人の女性が顔に使用するもの、というイメージでとらえられ

ると思います。それはいわゆる「メイクアップ料」のことで、石鹸やシャンプーなどは誰もが毎日使っていることと思います。化粧品とは人が肌に直接つけるもの、つまり赤ちゃんからお年寄りまで、すべての人が全身に一生使い続けるものです。現在市販されている化粧品はその多くが石油由来の化学物質を原料としています。「天然」[天然「植物」とうたっているものでさえ、その出発原料(原料の原料)にさかのぼると石油由来の成分が含まれるものがほとんどです。これらの化学物質は、体内に蓄積され、健康に害を及ぼす原因となったり、海へ流れ、環境を破壊する原因ともなっています。また、母親から赤ちゃんへ引き継がれ、アトピー性皮膚炎の子供も近年増え続けています。これらの有害な化学物質を一切使わず、本心に安心して使えるものを、と生まれたのが、私が携わっている「シナリー化粧品」です。安心、安全、無公害は当たり前、有益性もあるものを。目ざしているのは「化粧品革命」(Cosmetic Revolution)です。私の仕事は単なる「化粧品売り」ではありません。大切な人の健康を守る仕事、美しさと生きがいを与える仕事、正しい知識を伝える仕事、そして、地球を守る仕事です。大きな使命感と、誇りを持って一生できる仕事に出会えたことを心から感謝しています。興味をお持ちの方、肌トラブルをかかえたご家族のいらっしゃる方、どうぞいつでもご相談ください。お使いの化粧品ワンポイントチェック！成分表示をごらんください。「BG」「PEG」「メチコン」「ジメチコン」という表示があるものは「石油系化粧品」です。シナリー化粧品アドバイザー スピカ営業所長 小沢玉枝 Tel 090-8346-9993 E-mail qq2e-ozw@asahi-net.or.jp

寄付者・会費納入者一覧



平成十五年度中に寄付金・年会費をお振込頂いた方々です。(順不同・敬称略)
 ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。
 尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(締切16年 3月20日)

寄付者名一覧

- ◆S35年卒 宇佐美由美子(藤井)
- ◆S36年卒 五十嵐光俊
- ◆S37年卒 伊藤 恒雄
- ◆S38年卒 久保田昌雄
- ◆S39年卒 田中 正明
- ◆S40年卒 阿部 敏弘
- ◆S41年卒 高野 泰佑
- ◆S42年卒 寺村 光司
- ◆S43年卒 桜井 昭子(箭山)
- ◆S44年卒 小山由紀子(吉田)
- ◆S45年卒 杉浦 重治
- ◆S46年卒 谷本 敏子
- ◆S47年卒 島崎 重和
- ◆S48年卒 青木 哲夫
- ◆S49年卒 尾道 郁代(大橋)
- ◆S50年卒 長谷川三枝子(原)
- ◆S51年卒 原 淑子(近藤)
- ◆S52年卒 ◆S43年卒 井手 章子(丹沢)
- ◆S53年卒 榎本 裕子(高橋)
- ◆S54年卒 湖山 均
- ◆S55年卒 宮久保 渡
- ◆S56年卒 ◆S46年卒 恩村 一郎
- ◆S57年卒 笹山 幸子
- ◆S58年卒 ◆S47年卒 岩本 光裕
- ◆S59年卒 佐々木郁子(遠野)
- ◆S60年卒 ◆S48年卒 中川 正彦
- ◆S61年卒 ◆S56年卒 武智 弘英
- ◆S62年卒 ◆S59年卒 金亨 政弘
- ◆S63年卒 ◆S60年卒 石山 健子(佐伯)
- ◆S64年卒 石井 泰夫
- ◆S65年卒 高橋 順子(本間)
- ◆S66年卒 ◆S33年卒 櫻井 弘清
- ◆S67年卒 ◆S32年卒 山本 越子(福水)
- ◆S68年卒 森泉嘉代子(吉田)
- ◆S69年卒 三田 昌男
- ◆S70年卒 川端 春生(三橋)
- ◆S71年卒 梅田 博之
- ◆S72年卒 小川 力洋
- ◆S73年卒 伊藤美知子(一橋)
- ◆S74年卒 伊勢 武治
- ◆S75年卒 ◆S31年卒 伊勢 武治
- ◆S76年卒 西正 トミ(市川)
- ◆S77年卒 前田 信子(河野)
- ◆S78年卒 中村 素子(河野)
- ◆S79年卒 掛川 恵右
- ◆S80年卒 種葉 祐吉
- ◆S81年卒 橋田美智子(山口)
- ◆S82年卒 中村 登代子
- ◆S83年卒 金子 寛子(山中)
- ◆S84年卒 関岡 節子
- ◆S85年卒 同期会一同
- ◆S86年卒 鍋島 愛子(杉山)
- ◆S87年卒 小岩 歌子(神田)
- ◆S88年卒 渡辺 信子(加藤)
- ◆S89年卒 ◆S27年卒 同期会一同
- ◆S90年卒 関岡 節子
- ◆S91年卒 金子 寛子(山中)
- ◆S92年卒 中村 登代子
- ◆S93年卒 橋田美智子(山口)
- ◆S94年卒 種葉 祐吉
- ◆S95年卒 掛川 恵右
- ◆S96年卒 中村 素子(河野)
- ◆S97年卒 前田 信子(山本)
- ◆S98年卒 西正 トミ(市川)
- ◆S99年卒 ◆S31年卒 伊勢 武治
- ◆S100年卒 伊勢 武治
- ◆S101年卒 伊藤美知子(一橋)
- ◆S102年卒 梅田 博之
- ◆S103年卒 小川 力洋
- ◆S104年卒 川端 春生(三橋)
- ◆S105年卒 三田 昌男
- ◆S106年卒 森泉嘉代子(吉田)
- ◆S107年卒 山本 越子(福水)
- ◆S108年卒 ◆S32年卒 櫻井 弘清
- ◆S109年卒 ◆S33年卒 櫻井 弘清
- ◆S110年卒 ◆S34年卒 高橋 順子(本間)
- ◆S111年卒 石井 泰夫
- ◆S112年卒 石山 健子(佐伯)
- ◆S113年卒 金山 正博
- ◆S114年卒 宇佐美由美子(藤井)
- ◆S115年卒 会費納入者名一覧
- ◆S116年卒 山田 縷子(逸見)
- ◆S117年卒 幸道奈美子(鷺崎)
- ◆S118年卒 堀田 惠津(山田)
- ◆S119年卒 井上 早苗(阿部)
- ◆S120年卒 沢井 宏子(見崎)
- ◆S121年卒 桜井 珠世(山本)
- ◆S122年卒 ◆S25年卒 浅見 寛佐(小神)
- ◆S123年卒 高平香代子(高平)
- ◆S124年卒 前田惠美子(田辺)
- ◆S125年卒 ◆S26年卒 鎌田 美子(佐々木)
- ◆S126年卒 ◆S27年卒 高橋 清子
- ◆S127年卒 大井 弘子(市川)
- ◆S128年卒 小林美恵子(徳)
- ◆S129年卒 幸田 俊子(岩田)
- ◆S130年卒 松尾 一郎
- ◆S131年卒 松尾 和子(君川)
- ◆S132年卒 酒井美代子
- ◆S133年卒 ◆S28年卒 井上 昌子(押田)
- ◆S134年卒 小林 慎子(足立)
- ◆S135年卒 早船セツ子
- ◆S136年卒 小坂 利子(八木)
- ◆S137年卒 澤谷 裕子(角田)
- ◆S138年卒 清水 京子(永井)
- ◆S139年卒 久保田慶子(佐々木)
- ◆S140年卒 五島 珠江(穂)
- ◆S141年卒 大場のり子
- ◆S142年卒 岡崎富美子(内田)
- ◆S143年卒 黒川 滋洋
- ◆S144年卒 内山 昂子(豊田)
- ◆S145年卒 齋藤 由子(宇都木)
- ◆S146年卒 江島 さく(荒川)
- ◆S147年卒 助川 嘉郎
- ◆S148年卒 中西多恵子(山田)
- ◆S149年卒 ◆S29年卒 荒木 彩生(三井)
- ◆S150年卒 照沼 和子(島田)
- ◆S151年卒 兼崎 弘毅
- ◆S152年卒 稲垣 治重
- ◆S153年卒 物使川原鐵之助
- ◆S154年卒 葛西 宏治
- ◆S155年卒 三輪 良枝(薄井)
- ◆S156年卒 山内 義雄
- ◆S157年卒 篠崎 誠之
- ◆S158年卒 岩本 信二
- ◆S159年卒 金子 節子(渡辺)
- ◆S160年卒 櫻島津子(佐野)
- ◆S161年卒 伊沢登志恵(遠見)
- ◆S162年卒 ◆S30年卒 笹生 規子(鈴木)
- ◆S163年卒 長縄 信孝
- ◆S164年卒 若木 康孝
- ◆S165年卒 加藤 真子(岩水)
- ◆S166年卒 廣江 英一
- ◆S167年卒 安在 芳子
- ◆S168年卒 大島 久
- ◆S169年卒 山田 順一
- ◆S170年卒 下里 和子(下里)
- ◆S171年卒 三浦 洋子
- ◆S172年卒 安河内惠美子(鷹見)
- ◆S173年卒 ◆S31年卒 若松 恵子(牛山)
- ◆S174年卒 村上 満男
- ◆S175年卒 高尾 和子
- ◆S176年卒 鈴木やす代(瀧美)
- ◆S177年卒 水津 信雄
- ◆S178年卒 榎 英子(稲垣)
- ◆S179年卒 姫野千代子(近藤)
- ◆S180年卒 鈴木 世子
- ◆S181年卒 飯塚美代子(鶴橋)
- ◆S182年卒 沼田 敏二
- ◆S183年卒 佐藤佐江子(森)
- ◆S184年卒 中島 徹
- ◆S185年卒 松澤 克世
- ◆S186年卒 中矢 崇之(麻藤)
- ◆S187年卒 天石 榮子(白鳥)
- ◆S188年卒 山崎 久磨
- ◆S189年卒 赤松利久子(岩本)
- ◆S190年卒 吉田美千代(比企)
- ◆S191年卒 深瀬 恒英
- ◆S192年卒 ◆S32年卒 大津 紀男
- ◆S193年卒 小西 圭子(城)
- ◆S194年卒 春川 園子(勢)
- ◆S195年卒 ◆S33年卒 村井 道雄
- ◆S196年卒 中河 健男
- ◆S197年卒 ◆S34年卒 篠崎 悟
- ◆S198年卒 笹沼 芳子(五十嵐)
- ◆S199年卒 川合美津子(堀切)
- ◆S200年卒 古林 徹
- ◆S201年卒 沼田 肇
- ◆S202年卒 折本 輝子(増田)
- ◆S203年卒 若木 雅子
- ◆S204年卒 壬生田紀夫
- ◆S205年卒 植山栄次郎
- ◆S206年卒 乙部たみ子(新名)
- ◆S207年卒 富澤 久男
- ◆S208年卒 鈴木 紀(菅原)
- ◆S209年卒 ◆S35年卒 大高 勝子(岡)
- ◆S210年卒 鈴木 壮弘
- ◆S211年卒 永澤 淳子(山本)
- ◆S212年卒 鈴木富士雄
- ◆S213年卒 難波田久子(土井)
- ◆S214年卒 三浦みさ子(江島)
- ◆S215年卒 ◆S36年卒 関口 英郎
- ◆S216年卒 金崎 昌子
- ◆S217年卒 川端 猛
- ◆S218年卒 川端 美子(鈴木)
- ◆S219年卒 田中 秀夫
- ◆S220年卒 茂木 勝英
- ◆S221年卒 松浦 伍夫
- ◆S222年卒 大塚 昌隆
- ◆S223年卒 寺尾ヒロミ
- ◆S224年卒 久保 幸江
- ◆S225年卒 塚原 元昭
- ◆S226年卒 徳江美枝子(越賀)
- ◆S227年卒 奥村 誠
- ◆S228年卒 海澄 陸治
- ◆S229年卒 榎田 宏道
- ◆S230年卒 遠藤 仁美(榎本)
- ◆S231年卒 ◆S37年卒 板谷 勝
- ◆S232年卒 角田 知子(杉山)
- ◆S233年卒 坪井 節子(青木)
- ◆S234年卒 宮下紀恵子
- ◆S235年卒 勝田久美子(戸波)
- ◆S236年卒 北川 記方
- ◆S237年卒 山口 洋子(上野)
- ◆S238年卒 牧野 進
- ◆S239年卒 松島 伸高
- ◆S240年卒 高橋 悦子(奥山)
- ◆S241年卒 佐藤 護武
- ◆S242年卒 阿部美英子(新井)
- ◆S243年卒 今村 春江(星)
- ◆S244年卒 ◆S38年卒 谷口 昭夫
- ◆S245年卒 飯山千枝子(萩原)
- ◆S246年卒 山内 忠彦
- ◆S247年卒 佐藤 洋子(飛田)
- ◆S248年卒 田牧 絃一
- ◆S249年卒 羽柴 美枝(五十嵐)
- ◆S250年卒 栗原 節子(丸田)
- ◆S251年卒 津田 健子(広瀬)
- ◆S252年卒 ◆S39年卒 北田 照子(天山)
- ◆S253年卒 湯浅美保子(奈良)
- ◆S254年卒 庄司 和美(赤塚)
- ◆S255年卒 ◆S40年卒 秋山 浩一
- ◆S256年卒 石田美智子(村田)
- ◆S257年卒 岩城 公司
- ◆S258年卒 大塚 通子
- ◆S259年卒 山田 小一
- ◆S260年卒 ◆S41年卒 青木 紀子(五十嵐)
- ◆S261年卒 伊藤 義則
- ◆S262年卒 井村 忠
- ◆S263年卒 萩原加代子(松岡)
- ◆S264年卒 川添奈津子
- ◆S265年卒 川村佐知子
- ◆S266年卒 熊谷久美子(日高)
- ◆S267年卒 中山 康子(天平)
- ◆S268年卒 押野 清人
- ◆S269年卒 福島 宏紀
- ◆S270年卒 三谷アツ子(西)
- ◆S271年卒 溝口 進一
- ◆S272年卒 山辺 恭司
- ◆S273年卒 吉田 孝子
- ◆S274年卒 渡辺あけみ
- ◆S275年卒 ◆S42年卒 池ノ上政雄
- ◆S276年卒 今井真知子(亀井)
- ◆S277年卒 碓井 礼子(吉水)
- ◆S278年卒 榎田 照良
- ◆S279年卒 田中 和子(花村)
- ◆S280年卒 橋川 道雄
- ◆S281年卒 飛田寿美子(森下)
- ◆S282年卒 巴田 京子
- ◆S283年卒 横山 正夫
- ◆S284年卒 渡辺 幸恵(岩水)
- ◆S285年卒 ◆S43年卒 秋谷 実
- ◆S286年卒 伊東ひろみ(菅原)
- ◆S287年卒 大熊 雅男
- ◆S288年卒 ◆S44年卒 栗原 節子(丸田)
- ◆S289年卒 津田 健子(広瀬)
- ◆S290年卒 ◆S39年卒 北田 照子(天山)
- ◆S291年卒 湯浅美保子(奈良)
- ◆S292年卒 庄司 和美(赤塚)
- ◆S293年卒 ◆S40年卒 秋山 浩一
- ◆S294年卒 石田美智子(村田)
- ◆S295年卒 岩城 公司
- ◆S296年卒 大塚 通子
- ◆S297年卒 山田 小一
- ◆S298年卒 ◆S41年卒 青木 紀子(五十嵐)
- ◆S299年卒 伊藤 義則
- ◆S300年卒 井村 忠
- ◆S301年卒 萩原加代子(松岡)
- ◆S302年卒 川添奈津子
- ◆S303年卒 川村佐知子
- ◆S304年卒 熊谷久美子(日高)
- ◆S305年卒 矢島 明子(鈴木)
- ◆S306年卒 ◆S48年卒 柏 英明
- ◆S307年卒 金原 昌子(佐藤)
- ◆S308年卒 関口多鶴子
- ◆S309年卒 須賀 福子(牧野)
- ◆S310年卒 ◆S49年卒 今出 隆之
- ◆S311年卒 上野 一成
- ◆S312年卒 川島 清次
- ◆S313年卒 鈴木 紀安
- ◆S314年卒 ◆S50年卒 永井すま子
- ◆S315年卒 ◆S53年卒 鈴木 兼三
- ◆S316年卒 高橋 美法
- ◆S317年卒 ◆S11年卒 岩下 拓
- ◆S318年卒 ◆S12年卒 中沢登代子(近間)
- ◆S319年卒 吉田 令子(萩沢)
- ◆S320年卒 ◆S55年卒 岡部 英之
- ◆S321年卒 鈴木 深雪(桶谷)
- ◆S322年卒 原田 晃
- ◆S323年卒 小沢 玉枝(小林)
- ◆S324年卒 ◆S56年卒 兼子まゆみ
- ◆S325年卒 ◆S57年卒 飯岡 明子
- ◆S326年卒 兼島 孝
- ◆S327年卒 小室 豊
- ◆S328年卒 山口 努
- ◆S329年卒 ◆S58年卒 梓澤 秀昭
- ◆S330年卒 ◆S59年卒 熊野 敏弘
- ◆S331年卒 ◆S59年卒 奥村理恵子(本橋)
- ◆S332年卒 木下 玲子(川井)
- ◆S333年卒 ◆S60年卒 内田 明美
- ◆S334年卒 金井 利優
- ◆S335年卒 張 家楨
- ◆S336年卒 ◆S61年卒 三輪 京子(茂田)

「運営費にご協力をお願い!!」
 会活動活性化に向け、ご提案・ご寄付・年会費等のお振込み方、ご協力をお願い申し上げます。

- ◆S62年卒 嶋根 和代(吉光)
- ◆S63年卒 山本 和美(馬場)
- ◆S64年卒 田上みゆき(野沢)
- ◆S65年卒 野沢 智幸
- ◆S66年卒 菅井 良樹
- ◆S67年卒 鹿山教比古
- ◆S68年卒 小泉 匡
- ◆S69年卒 高橋 美法
- ◆S70年卒 ◆S11年卒 岩下 拓
- ◆S71年卒 ◆S12年卒 中沢登代子(近間)
- ◆S72年卒 吉田 令子(萩沢)
- ◆S73年卒 ◆S55年卒 岡部 英之
- ◆S74年卒 鈴木 深雪(桶谷)
- ◆S75年卒 原田 晃
- ◆S76年卒 小沢 玉枝(小林)
- ◆S77年卒 ◆S56年卒 兼子まゆみ
- ◆S78年卒 ◆S57年卒 飯岡 明子
- ◆S79年卒 兼島 孝
- ◆S80年卒 小室 豊
- ◆S81年卒 山口 努
- ◆S82年卒 ◆S58年卒 梓澤 秀昭
- ◆S83年卒 ◆S59年卒 熊野 敏弘
- ◆S84年卒 ◆S59年卒 奥村理恵子(本橋)
- ◆S85年卒 木下 玲子(川井)
- ◆S86年卒 ◆S60年卒 内田 明美
- ◆S87年卒 金井 利優
- ◆S88年卒 張 家楨
- ◆S89年卒 ◆S61年卒 三輪 京子(茂田)

総会・懇親会参加各卓 15年4月29日(みどりの日)



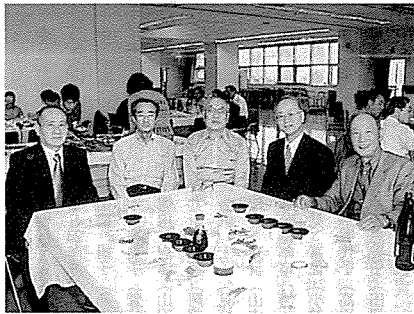
飯田教頭
小川会長
石井校長
川端相談役
板井先生
篠崎氏
杉本氏
水町先生



切り絵作家稲葉祐吉氏作品展に見入る会員



田中
尾道
石山
三田
小川
桜井
山本
寺村
末木
稲葉



ホームカミング会 (向陵祭見学・セミナー日本茶の歴史を味くらべ会) 15年9月28日(日)



合同旅行会 (塩原・那須・りんどう湖・ファミリー牧場) 15年8月30日(土)~8月31日(日)



第56回卒業式会場 (16.3.12)



西日本大会 於 八尾市大黒殿 15年5月24日(土)



河内首領発祥の地 常光寺山門にて



稲葉 三輪 桜井 長谷川 笹山 田中 山本 川端 尾道 小川 三田 高尾 末木 中矢



合同旅行会 会員募集

平成16年9月4日(土) ~ 5日(日)

・宿泊先

草津温泉ホテルおおるり

0279-888-3003

0120-582851

・対象 会員等

参加費 10,000円

一泊四食付

(入場料はオプションとします)

・集合 JR田端駅

7時45分集合

8時出発

・送迎バス利用

・催行人数 15名~25名

申込〆切 先着順にて受付

ます

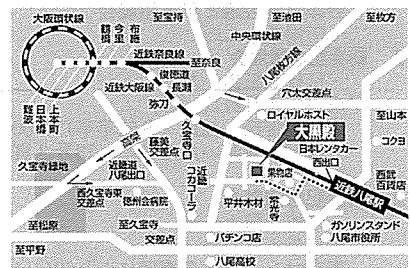
8月20日(金)までにお振込

下さい

・郵便振替口座番

00110-9-638513

加入者名



やよい俳壇

檜 紀代達 (S31 旧姓安藤令子)

黄泉に待つ人を待たせて日向ぼこ

S28 森重 龍郎 (龍彦)

飛ぶ雲の水面を揺らす立夏かな

S30 安河内恵美 (恵美子 旧姓 鷹)

世のどこか戦のありし良夜かな

S31 梶田 仍美 (旧姓 坂口)

見えぬもの使ひこなして電波の日

S31 麻生やよひ (山本越子 旧姓 福水)

ふた開けてみなのおぞきこ鍋雑炊

S55 小沢 玉枝 (旧姓 小林)

檜 紀代吟 (S31 旧姓安藤令子)

昔あらば大音響の散る桜

連絡先 麻生やよひ (山本越子)

(TEL/FAX) 03-3532-17489

twi5679@mb.infoware.jp

訃報

謹んで哀悼の意を表し、ご報告のありました方のみをお知らせ申し上げます。

大山 梅次旧教頭 15. 11. 30 (享年77歳)

幸道(鷺崎)奈美子 24卒 14. 12. 20 (享年72歳)

松井 笑子 26卒 15. 12. 20 (享年70歳)

高田 耿介 27卒 15. 8. 27 (享年69歳)

筑山 敏介 29卒 9. 2. 13 (享年65歳)

荒川 雅司 30卒 15. 12. 19 (享年66歳)

若松(牛山)恵子 31卒 14. 9. 21 (享年65歳)

川井隆太郎 40卒 13. 4. 26 (享年54歳)

阿部 竜之 H7卒 13. 3. 5 (享年24歳)

同窓会役員名簿

平成16(2004)年 3月31日現在

役職	氏名 (旧姓)	卒年	住所	電話番号
顧問	石 章二郎	歴代校長		
〃	佐々木 益男	〃		
〃	新城 昇昭	〃		
〃	池永 武透	〃		
〃	北村 正生	〃		
名誉会長	石井 隆夫	校長		
会長	小川 力洋	31年卒		
副会長	三田 昌男	31年卒		
〃	杉浦 重治	40年卒		
会計	尾道 郁代 (大橋)	41年卒		
〃	長谷川 三枝子 (原)	41年卒		
書記	山本 越子 (福永)	31年卒		
〃	笹山 幸子	46年卒		
〃	佐々木 郁子 (遠野)	47年卒		
会計監査	石山 彼早子 (佐伯)	34年卒		
〃	寺村 光司	37年卒		
幹事長	櫻井 弘清	32年卒		
事務局	飯田 幸男	教頭		
相談役	稲葉 祐吉	30年卒		
〃	川端 春生 (三橋)	31年卒		
〃	田中 正明	36年卒		
〃	千田 二仁江 (樋口)	59年卒		

【事業報告】

平成14年4月1日～平成15年3月31日

I 役員会(幹事会)

平成14年4月13日(土)
総会準備会および会計監査会兼幹事
顔合わせ会を行う。
・北区東田端地域振興室

平成14年5月28日(火)
総会の反省点と次年度の催し物につ
いて
・北区東田端地域振興室

平成14年9月4日(水)
ホームカミングの打ち合わせ会
・銀座TOCOS

平成14年10月23日(水)
ホームカミング反省と全国大会(西
日本大会)の件
・銀座TOCOS

平成14年11月15日(金)
会報企画会議と年末懇親会
・田端テムニー

II 総会記念講演会

・母校6階ホール
平成14年4月21日(日)
講師 吉松 純氏(S52年卒)に60
分ほどご講演いただいた。13号3頁
参照

III 総会記念演奏会

・母校6階ホール
平成14年4月21日(日)
東京マンドリン合奏団により60分ほ
ど熱演された。
近隣・一般の参加もあり150名ほど
が演奏を楽しんだ。

IV 総会・懇親会

・母校6階ホール
役員、会員あわせて70名と少数だ
った。アトラクション、抽選会は賑わ
った。
会員がもっと多数、気軽に参加して
いただきたい。
切り絵作家稲葉氏作品“郵便切手セ

ット用原画”が展示された。

V 研究活動

① 平成14年9月29日(日)
ホームカミングにて粕谷卓志氏(S
45)による講演
“ニュース裏話、取材活動の苦労な
ど、60分ほど(13号3頁参照)。続
いて懇談会。”
・母校視聴覚教室

② 平成14年10月26日(土)
やよい会西日本大会の打ち合わせの
ため、会長が担当責任者高尾和子氏
と会談、会場下見。
・大阪府八尾市 結婚式場 大黒殿

VI 会報関係

平成14年4月13日(土)
やよい12号の反省 紙質の違いなど
・北区東田端地域振興室

平成14年11月15日(金)
やよい13号の編集会議、原稿取りま
とめ
・北区東田端地域振興室

平成15年1月20日(月)
やよい13号の新年初顔合わせ会
・北区東田端地域振興室

平成15年2月17日(月)
やよい13号の原稿まとめ会
・北区東田端地域振興室

平成15年3月3日(月)
やよい13号の初校正会
・北区東田端地域振興室

平成15年3月13日(木)
やよい13号の二校正会
・北区東田端地域振興室

平成15年3月21日(金)
やよい13号の三校正会
・小川事務所

平成15年3月31日(月)
責了とした。

VII 渉外関係

平成14年4月9日(火)
母校入学式に小川会長列席(242名)
・母校体育館
平成14年5月24日(金)

P T A総会後の懇親会に小川会長列
席
・母校会議室

平成14年5月31日(金)
母校体育祭に小川会長参列
・駒込・六義園

平成14年6月28日(金)
北村正生前校長を囲む会に役員7名
参加
・池袋メトロポリタン

平成14年9月29日(日)
向陵祭を祝うと共にP T A室に切り
絵展示、参加
・母校

平成15年3月2日(水)
母校卒業式に会長が招待され、祝辞
とともに同窓会入会のお礼を述べ
た。

・母校体育館
引き続き卒業を祝う会に招かれ、参
加した。
・池袋サンシャインプリンスホテル
※学校運営連絡協議委員会に小川同
窓会長が年間3回出席した。

・母校会議室

VIII 振興助成

フォークソングクラブ活動呼びかけ95
名に対し、代表関本知恵氏に助成し
た。

フォークソングクラブOB会開催に当
り幹事関本知恵氏に助成した。

第11期(S34年卒)3 Aクラス会開催
に対し、幹事佐山周氏に助成した。

演劇部OB会懇親会開催、35名に対し、
幹事三谷一郎氏に助成した。

卒業50年記念4期同期会開催169名に
呼びかけ。幹事五條彰久氏に助成し
た。

IX 慶弔関係

三田副会長長電通勇退と同窓会への全面
協力に対し花束贈呈。
・銀座TOCOS

平成14年度会計報告及び平成15年度予算案

都立 向丘高等学校同窓会
平成15年3月31日現在

Table with 3 columns: Category, 14年度決算 (金額), 15年度予算 (金額). Rows include 収入の部 (入会金, 年会費, etc.) and 支出の部 (全国大会関係費, 交通費, etc.).

上記の通り収支報告申し上げます。
平成15年4月29日

同窓会会長 小川 力洋 ㊟
会計 尾道 郁代 ㊟ 長谷川三枝子 ㊟

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成15年4月5日

監査 石山俊早子 ㊟ 寺村 光司 ㊟

花の八期(31年卒)、同期会開催のお知らせ

なせ、花、かと思われると返事に困るけれど、まあ
語り合わせ、というところご勘弁ください。
しほら開かなかった理由は参加人数の激減で
す。忙しい思いをしてもこれじゃあねえ、でしたか
ら。でも、驚きました。あの長嶋でさえ脳梗塞を
起こすんです。元氣なうちにチャンスを作り、想い
残すことがないようにしませんか。
幸い同意の發起人有志も決まりました。超近代的
な階建ての母校で楽しい一時を過ごしましょう。
お願い、幹事に立候補して下さいませ。ぜひ山本
(福水までお申し出下さい)。

あとがき

イラク爆撃から早丸一年を迎えるとき、日本
は人道支援で陸・海・空を送り出している。そ
のサマワでは、先ず浄水し、給水車十二台(寄
贈品)をもって活動している。配水には恨まれ
ぬ様現地人に任せる方式だという。
スペインのマドリッドでは二百人もの死者が
出たという列車爆破テロが起こっている。日本
も標的だと、実に物騒となったものだ。
今年の卒業式は都の指導が徹底された故国歌
歌斉唱にも起立のまま全員が動かなかった。都
立高校三分の一が三月十二日に行われたが、各
校に都派遣のご挨拶があった点もありました。
が、実に整然、厳粛そのもので爽やかだった。
送辞を二年代表小山内彩乃さんが、答辞を卒
業生大西綾子さんが立ち、。がおか。の生活を
褒め称え懐かしみ、潤いでの辞を聴き、万堂の
二百三十名の卒業生・保護者・在校生代表は最
高の卒業式に感激された。
小川力洋記